

「うつくしま復興大使」が都庁を訪問しました

東日本大震災の支援への感謝と復興への決意を全国に伝える「うつくしま復興大使」に選ばれた3人が10月2日、都庁を訪問しました。

3人は、中学2年生の郷琴理（ごうことり）さん、高校2年生の鈴木淳也（じゅんや）さん、主婦の田口幸子（ゆきこ）さん。

復興大使の郷さんは「少しずつ復興へ向けて歩みだしています。福島を支えてくださった全国の皆さんのおかげです。」と感謝の言葉を述べ、鈴木さんは「将来は消防士になり、人を助ける仕事をしたい。」と決意を述べられました。

都庁では、西村復興支援対策部長とスポーツ祭東京2013のマスコットゆりーとが出迎え、復興へのエールを送りました。

※「うつくしま復興大使」とは、ふくしまへの支援に対する感謝、ふくしまの「今」や「負けない心」を全国そして世界に伝えるために県内59の全市町村から公募で70人選出された方々で、福島民報社が福島県と連携して実施している事業です。



うつくしま復興大使のみなさん



「ゆりーと」がお出迎えしました